



クイズフォーカスイン夏休み高校生大会
目指すは立山の主峰雄山山頂

エッセイ 津山 昌

庵唄、そして呉西の文化 —— 表紙 2

特集 / 敬老の日・老人福祉週間によせて

シルバーパワーを咲かそう —— P 6

PIN UP TOYAMA

黒部峡谷露天風呂 —— P12

TRIP 県政

21世紀の森 —— P16

ふるさとみてある記

城端町 —— P20

シリーズとやまの水⑤

立山玉殿の湧水 —— 表紙 3



クローズアップ1



影に心を奪われるか。

色に恋するるか。

「ズームアップとやま」写真展開催

六月一日(写真の日)に県民総参加でふるさとを撮影した「ズームアップとやま」。このとき撮られた写真の展覧会が、八月八日から十一日までの四日間、富山県民会館地下展示場及び一階ロビーで行われました。

総展示作品数は一、五六四点。富山県下の全市町村にわたる一般県民からの応募作品のほか、県外からの応募、富山県写真家協会からの出品等を加え、応募作品のすべてをパネルにして展示したものです。

この「ズームアップとやま」は、カメラのフリンターを通して、ふるさととやまを視覚的に捉えることにより、県民自身がふるさとの素晴らしさを再認識し、県のイメージアップを図ろうと企画されたものです。応募された作品は、自然、子供、祭り、街並みなど、テーマも様々、見たまま、感じたままのとやまが一堂に集まりました。

また、会場では、特別企画として、富山県写真家協会によるポートレート撮影サービスマも行われ、人気を呼びました。

エッセイ

庵唄、そして呉西の文化

津山 昌

この春、はじめて城端の祭を見にいった。昼に見た六体の豪華な曳山車の木影や、かの治五右衛門の塗もさることながら、より興味あったのは山車に従う六体の庵屋台であった。京都の一方など日本の一流のお茶屋を模したもので、下の屋台に数人の囃子方が入る仕掛け。その庵屋台、精巧可憐を極め風流を憶えるのであった。

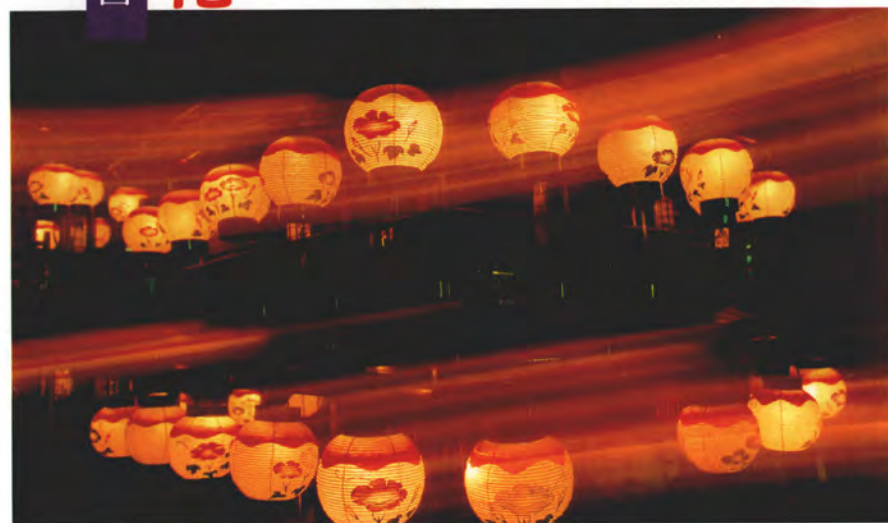
しかし驚いたのは夜。ちょうちんを灯したその庵屋台が主役。ちょうちん山車の後で、立ち止まった屋台のなかの三味線や太鼓や笛の囃子に庵唄が流れる。庵唄とは端唄であった。

まさに春宵一刻価千金。その情緒に酔うた。端唄のリズムが、思いがけず七年前に去った亡き母を偲ばせた。久々の春の宵の感興だった。坂の町には情緒が残っていた。呉西地区の町々に京都風の山車が祭に曳き巡されることは知っていたが、城端の町に端唄の江戸情緒まで飛びこんでいようとは……。

多分、五箇山の蚤が城端に集められ、生糸や白生地にされ、それを荷いで江戸で売り、端唄を聞き、それを持ち帰ったものであろう。

古い文化は、その文化圏の周辺に残る、といわれる。高岡を中心に、この城端・砺波・小矢部・伏木・氷見・新湊・四方、大門と曳山祭の形式は多い。

京都の祇園祭の鉦の巡行の形式であろう。呉東には、八尾と岩瀬以外にこの祭のかたちはない。小さな富山県であっても、呉羽山を境として呉西は関西文化圏なのである。しかも呉西は加賀百万石の城下。加賀文化圏でもある。だからか、京和菓子も呉西。また今秋に「富山の茶室」を刊行するのに調査したら、県内の独立棟の茶室85のうち、51まで呉西にある。それに、林檎



が呉羽山まで、柑橘類は呉西まで、とか。

城端の情緒ある庵唄は、辺境の関西文化圏に飛びこんだ関東文化であろう。だが、現代では交通の発達によって、また中央との互いの交流によって、和菓子の違いがなくなるように、マーケットの味が画一化する。祭りさえ、神々の祭りから、神は死んで、いかに人々を集めるかのイベントに変わってしまった。呉西も呉東も、もう違いはない。

しかし、呉西地区にひそむ古い文化的素養は、なまじっかまだあるだけに、時代を切り裂く新しい創造にとって足枷となっている場合が大きいようだ。その点、呉東の方が、かえって新しい感性を直接に創造に結びつけやすい可能性があるかもしれないのである。

城端の庵唄も祭というイベントとして残ったが、土地の文化として定着したのだろうか。加賀の能や茶道のように……。その心まで。

今日の県近代美術館の現代美術や利賀のイベントも、土地の文化として果して定着するものだろうか。意識の変革にまで……。あるとすれば、それは呉西だろうか、それとも呉東だろうか。



とやまの音楽
とやまのオーケストラが一堂に

富山県県民オーケストラ合同演奏会

重ねてきた合同オーケストラが披露したのは、ボレロ、ハンガリー舞曲などの皆さんにもおなじみの曲目です。

合同オーケストラに参加したメンバーからは、「他の楽団と合同で練習し、演奏するというのは、気分も新鮮になるし、お互いのはげみにもなります。」そして、「知らないのですが合同で一つの曲を演奏し、つくりあげ発表できるなんてすごくいいですね。」の声も。当日、会場をいっぱい埋めた聴衆からは、盛大な拍手がおくられました。

県内で活動しているオーケストラグループの合同演奏会、富山県県民オーケストラ合同演奏会が、八月十七日、富山市公会堂で開催されました。

この演奏会は、本県の音楽界の一層の活性化と発展・向上を図ろうと開催されたもので、二部形式で行われました。第一部では、呉羽高校フィルハーモニー管弦楽団、富山県青少年オーケストラ、富山シティフィルハーモニー管弦楽団のそれぞれの演奏が、第二部では第一部の三楽団に加え富山大学フィルハーモニー管弦楽団、富山医科薬科大学管弦楽団の五楽団の選抜メンバー約二百人による合同演奏(指揮 山岡重信)が行われました。

おまわりさんの演奏とドリルの祭典
8月3日 富山市公会堂



おまわりさんの演奏とドリルの
神奈川・新潟・富山・石川・福井 各県警察音楽隊

真夏の夕べのひと時、ダイナミックな演奏と女子カラーガード隊が活躍する華やかなドリル演奏。神奈川・新潟・富山・石川・福井の五県警音楽隊のステージです。夕方の演奏会に先立ち警察音楽隊は「とやま祭り」のパレードにも出演しました。



子供パソコン教室
7月25日-29日
情報教育センター



パソコン、ファミコンゲームの操作はお手のもの小中学生がチャレンジしているのは、ゲームソフト作り。コンピュータゲームはどのような方法で作成されているか、その最も基本的な考え方を、自分たちで自分の好みのキャラクターを作りながら学びました。



「わたしたちの壁画」制作
県内小中学校26校、しらとり養護学校セーナー苑分校



近代美術館で毎年開催されている「わたしたちの壁画展」に出品される作品の制作が始まりました。出品校それぞれのテーマのもとに、共同制作がすすめられています。壁画展は、十一月二十日からですが、その頃は、きつと素晴らしい作品に仕上がっていることでしょう。

ふるさと考古学教室
8月7日・8日 埋蔵文化財センター



試す・触れる・見るなどの体験学習を通して、原始・古代の人々の苦労をしのぶふるさと考古学教室。室内での学習のほか、発火具を使つての火おこしや縄文土器の文様の復元、そして発掘中の遺跡の見学と当時の人々の生活の一端に触れました。

とやまファミリーサイクリング大会
8月3日 大門庄川小矢部自転車道大門庄川間



最高で往復四〇キロメートル、大門サイクリングセンターと庄川町水記念公園のあいだをサイクリング。このサイクリング大会も今回で三回目、八月は「道路をまもる月間」なのですが、もうすっかりこの月間の恒例行事といった感じです。



とやま夏休みeetc.

あなこれ

'86とやまの夏——遊んだり、学んだり。県内各地でいろんなイベントや催事がありました。暑い中にも、「元気なとやま」が実りました



富山市東部中学校で

高齢化社会とは、六五歳以上の人口比率が増大する社会のことですが、国連では六五歳以上人口が全人口の七%以上の状態を高齢化と規定しています。

さて、富山県の高齢化の状況をみると、昭和六〇年国勢調査では、総人口一、一一八、三六九人のうち六五歳以上の老年人口は一四三、六四六人、老年人口比率は一二・八%を占め五年前より一・六%上昇しています。また、全国の老年人口比率(二〇・二%)よりも二・六%も高く、

全国平均を約八年ほど上回るペースで高齢化が進んでいるといえます。

このような高齢化社会を迎え、名実ともに人生八〇年時代を迎えた現在、老人福祉は、世代を超えて県民すべてが考えなければならぬ課題です。年金の給付や個人の負担、就業機会や定年後の雇用、健康・医療・介護、生きがいなど各種の問題が職場や家庭、地域社会で取りざたされるようになっていきます。

シルバーパワーを咲かそう。

街に仕事に“自分”を活かしてますます元気!!

特集 敬老の日・老人福祉週間

今年のテーマ

このような情勢のなかで、今年の「敬老の日・老人福祉週間(九月一日～二日)」は、「豊かな老後をみんなの力で」をモットーに掲げています。そしてそれぞれの世代が連帯し、将来の

豊かな生きがいのある福祉社会を築くため、次の強調テーマのもとで、各地で様々な運動が展開されます。

- 一 こんにちの高齢化時代の特徴を理解し、老人福祉問題をみんなの課題として考えよう。
- 二 高齢者の健康増進と社会参加活動について

長井鶴松さん。流杉の老人ホーム九重荘で点訳奉仕をしております。「入所当時ここで点訳をやっているおばあさんがいて、私もできないことはない、と始めてみたのです。六か月

今年もみんなの力で豊かな老後をみんなの力で

長井鶴松さん

- 三 高齢者福祉推進の要としての家庭・社会の役割についてみんなで考えよう。
- 四 ケアを必要とする人々への援助体制・条件整備活動を積極的に推進しよう。

生きがいと社会参加

温かい心のふれあいのある長寿社会を築いていくため、県でも積極的な各種の施策を講じています。在宅福祉の充実や施設整備を図る一方、高齢者の生きがいと社会参加を促進する事業も積極的に進めています。しかし、「生きがい」という点では、究極的にはその人その人の心の問題であり、いかに施設がつくられ、施策が講じられても、心のないまま、ただ義務感と権利意識がすれ違っていたのでは意味がありません。

昨年度、実施した県政世論調査では、高齢化社会の問題点として「就業機会や定年後などの雇用」、「老人の生きがい」をあげる人がそれぞれ三〇%を超え、老後の生きがい・楽しみとして、「趣味・娯楽・けいここと・運動・スポーツなど」、「友人・知人とのつきあい」などをあげる人が多くなっています。

一方、「仕事」と答える人も二九・四%と多くまた「町内会・自治会などの地域活動」、「地域の清掃や一人ぐらし老人・ねたきり老人等への訪問など社会奉仕活動」の地域社会活動をあげる人も決して少なくありません。

そして、実際に様々な高齢者の方々が様々な分野の第一線で活躍し、長年培ってきた貴重な経験や知識を社会に役立たせています。

の通信教育を終え、昭和五六年、富山赤十字点訳奉仕団員となりました。

以来、赤十字から指定された本を十冊あまり点訳し、約三十巻の点字本にしました。

文字を小さな穴に換えるという細かい作業のため、一日にできるのは三、四時間。一行仕上げては照合し、点字本一卷を仕上げるには一か月半かかります。

「もちろん、退屈のぎとすることもありません。しかし、何よりも、人の役に立ち、人に喜んでもらえるのがうれしいです。自分の趣味だけに生きていたら、こんなに生きがいを感じたでしょうか。」

「下調べも必要ですし、打ち間違えると、初めからやり直します。夏は汗のために用紙が汚れてやりづらいです。とても根気のいる作業です。その労苦を覚えて昭和五七年以来、毎年善意銀行から親切・善行の感謝状が贈られています。長井さんは、明治三十九年生まれ。ずっと木材関係の事業をなさっていました。満州にも八年間暮らし、着のみ着のまま引揚げてきました。「若い頃は、点訳奉仕など思いもよらなかったが、年をとって心に余裕ができたのでしよう。」

「ボケるまで続けたいです。点訳で頭を使うのでボケとは無縁に思えますが……。細かい作業の割には肩も凝らないそうで、八十歳の長井さんは、とても健康です。そして、とても生き生きしています。」

ベコニヤの針植えが並んだ部屋で、ただ今桂小南「落語案内」に取り組んでいます。

台車の音、トラックの音、セリの威勢のよい声が響き渡ります。

ガラガラガラ、野菜をいっばいに積んだ台車を押してゆく小柄なおじいさん。松森作次郎さん（六九歳）は、毎朝六時から富山市中央卸売市場の中卸店で働いておられます。

ずっと農業をやっていたましたが、田んぼの減少と機械化のため暇になり、高齢者能力開発情報センターで紹介されてここへ来たそうです。

「体を動かすことが好きやし、働いとれば健康のためにもいいですよ。体？たまに風邪をひくくらいで悪い所はないちゃ。朝は五時に起きて、自転車で十五分。野菜をお客さん（小売店）のトラックまで運ぶのが主な仕事やね。昼までには終わるから、あとは家でブラブラしとるわ。ここで

歩き回つとるから特に運動する必要もないし。ここは、屋内やから外よりは涼しいし、雨に濡れる心配はないし、働きやすいよ。周りはいい人ばかりやし、気軽にやつとるわ。」と大変気に入っていらつしやいます。

店の社長は「今、うちには高齢者の方が三人いますが、皆さん若い者以上に頑健で、根性が

あります。まじめなので若い者の模範になり、いい刺激を与えてくれますよ。お客さんや周りに対する気配りは年を取った人ならではです。年輪の差にはかないません。体を悪くして休んだことはありませんが、無理をしないように体を大切に長く続けて欲しいと思います。」と大変ほめています。

松森さんは、とても力持ち。入善ジャンボズイ力を両手に軽々と下げ、元気よく働いておられました。



若い人に模範と刺激。
野菜市場の元気じいさんへ

ゲートボール大会、教養講座、高齢者教室（年十回位）、敬老会、宮の清掃、旅行……呉羽山の麓の茶屋町老人クラブは非常に活発な活動をしています。旅行は一日清遊・保養旅行などと称して五箇山などへ年三回。他に現地視察という勉強会もあり、県外へ行きます。

ゲートボールと聞くと年寄のゲームという感じがしますが、茶屋町老人クラブでは少年・中年・老人と三世代が一緒になってやります。昨年は呉羽校下で優勝したそうです。「ゲートボールは皆と話をしながらできて楽しいよ。ついつい勝つことに目を奪われがちですが、楽しくやるのが一番大切だと思います。他の地区への遠征などは面白いですよ。」専用のゲートボール場の手入れも行き届いています。

この老人クラブは、四年前から子供達を集めて草鞋作り、なわぬい、竹馬や竹スキー、竹トシボなどの竹細工を教えています。「子供は大喜びですよ。特に竹馬はみんな作りたがりですね。」

昨年は呉羽山付近の史跡巡りをやり、二百名以上の親子の参加があったそうです。世代交流も盛んに行われているわけです。

「うちは行事がいっぱいあるよ。どこも老人クラブのマネはできんやろう。年寄は金と暇があるから」と会長の長越彌之助さんはおっしゃいます。が、皆さんなかなか忙しいようです。シルバー人材センターに登録している方が多く、月に七、十日間庭木の剪定などに出かけるそ

うです。他に家庭菜園や田んぼ、講習会など、やることがあり過ぎるくらいやちゃ。「おかげでゲートボールのメンバーが足りなくなつて……」老人クラブの行事への参加もままならないように、百名余りの会員のうち出て来れるのは半分以上とか。今日も五十名ほどが宮の清掃をしておられました。きれいになった境内で差し入れの酒を一杯。「これが楽しみがだちゃ」。賑やかな談笑があちこちで始まりました。

人生八十年の今日、高齢者にはかつてのような「隠居」のイメージはふさわしくありません。八割の方は健康で、日常生活には不都合を感じていません。また、ほとんどの方が老人クラブを筆頭に婦人会や町内会、趣味の会などの社会参加をなさつており、七割の方は何らかの趣味を持っています。

もちろん、年を取るにつれ、体は老化し行動は思うようにいなくなりませんが、寝たきりの人は全体の五パーセントにも満たないのです。八五歳を越えてもなお健康という方も大勢おられます。心と体の持ちようが豊かな老後の一つの鍵でしょう。



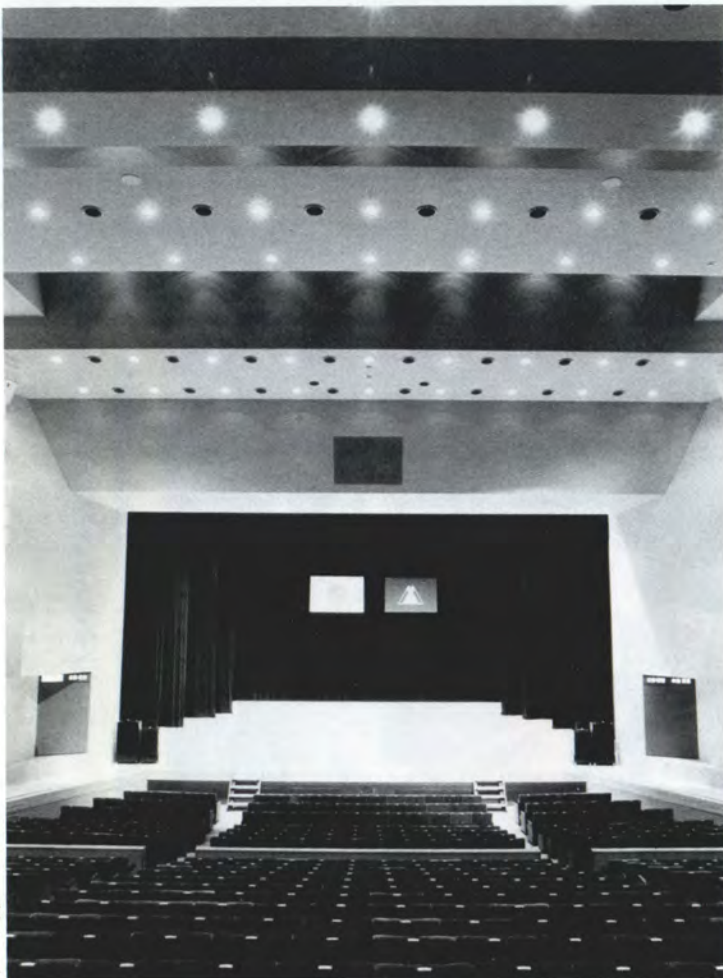
茶屋町老人クラブ
ゲートボールと竹細工に
楽しく遊ぶ

topics

富山県高岡文化ホール

10月1日、オープン

県西部の文化の殿堂



大ホール



スタジオ

富山県がめざす「文化の果つくり」の核のひとつとして、高岡に新しい文化ゾーンが誕生します。富山県高岡文化ホール及びその周辺地域（高岡市中川園町・旧富山大学工学部グラウンド跡地）がそれです。

文化ホールは、二十一世紀を指向し、県西部における県民の文化意識の高揚と県民参加の文化活動の振興を目的として建設されたものです。その名のとおり、大・小二つのホールのほかスタジオ、ギャラリ、練習室、和室、会議室など県民の皆さんの多様なニーズに対応可能な施設となっています。

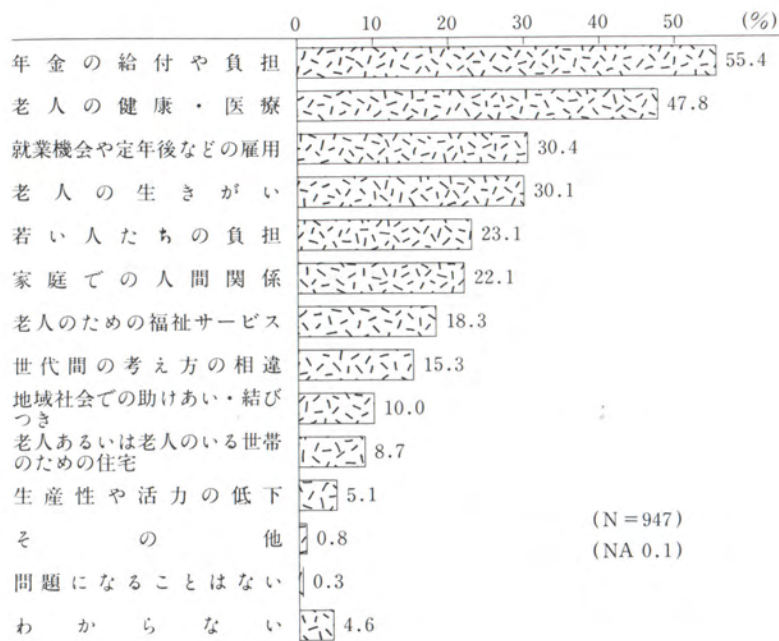
また、文化ホールの周辺は、高岡市のシビックセンター構想の一環として文化の殿堂にふさわしく高陵緑地の整備や前面道路の整備などが逐次進められています。



■開館記念イベント

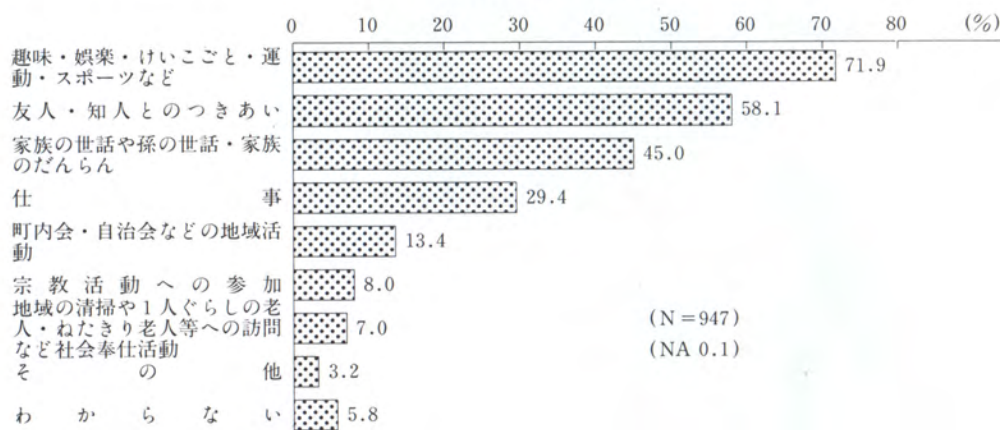
- 10月1日 堀正文（バイオリン）と清水和音（ピアノ）によるデュオコンサート
 - 10月3日 劇団スコットによる「トロイヤの女」
鈴木志志、高橋治、勅使河原宏による座談会「地域の文化を語る」
 - 10月1日～5日 高岡工芸高校所蔵展
 - 10月10日 文芸座による「イワンの馬鹿」
 - 10月26日 チェコスロバキアが誇るスメタナ弦楽四重奏団演奏会
- ▼問合せ 富山県高岡文化ホール開館準備室
〒933 高岡市中川園町13-1
☎（0766）25-4141

高齢化社会の問題点



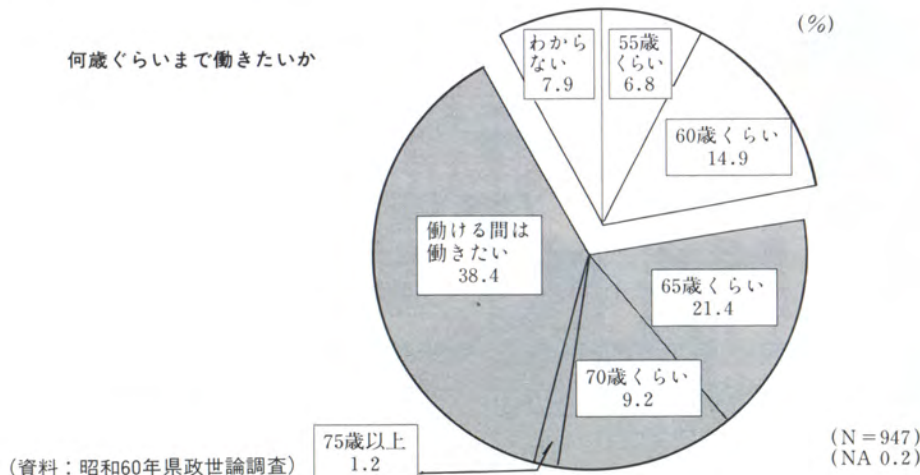
問 本県の老年人口比率（総人口に占める六五歳以上人口の比率）は、昭和五五年国勢調査では一一・二％と全国平均（九・一％）を上回っており、六五年には一四・五％（全国平均一一・六％）、さらに、八五年には二二・四％（全国平均一八・八％）にも達すると推計されています。このような高齢化社会の進行により、今後どのようなことが問題になってくると思いますか。次の中から三つ以内であげてください。（MA）

老後の生きがい・楽しみ



問 あなたは、老後においてどのようなことに生きがいや楽しみを求めたいと思いますか。次の中から三つ以内であげてください。（MA）

何歳ぐらいまで働きたいか



問 あなたは、何歳ぐらいまで働いていたいと思いますか。家事のことも含めてお答えください。



宇奈月一揆平をつなぐ黒部峡谷鉄道沿いは、富山県内でも屈指の温泉地帯、黒薙、鐘釣、名剣、祖母谷と露天風呂が続いている。
目下の秘湯ゲーム、露天風呂ゲームと相まって訪れる人も多くなった。

Pin Up TOYAMA

先頃、昭和六十年国勢調査の第一次基本集計の結果が公表されました。それによると、本県は持家率八四・二パーセント（全国六一・五パーセント）、一世帯当り居室数六・五九（全国四・七四）、一世帯当り畳数四七・二畳（全国二九・八）といずれも前回調査に引き続き全国第一位を誇っています。

県では、この高水準を維持するとともに、高度化・多様化している住宅に対するニーズに 대응するためにいろいろな施策を展開しています。特に、良質な住宅ストックの形成、地域の気候、風土、伝統等に根ざした住宅建設、快適な住環境の整備を推進していきます。

以下、県の行っている住宅関連施策をご紹介します。



【県営住宅の入居】

十分な住宅を確保することが困難な方に安い家賃で安心して暮らしていただくために県営住宅を用意しています。

● 場所

富山市内(十七カ所)、高岡市内(四カ所)

新湊市内(四カ所)、小杉町(太閤山)

● 申込資格

- ① 県内に住所または、勤務場所を有すること
- ② 現に同居したまたは、同居しようとする親族のあること
- ③ 収入が入居資格収入基準内であること

【太閤山住宅の宅地】

県民公園太閤山ランドに隣接し、公園や緑地スペースが多い快適な環境です。

一区画平均三百三十平方メートルあり、ゆとりあるマイホームづくりをお求めの方には最適です。

● 宅地価格 四万五千三百円/平方メートル

【富山県特別分譲住宅制度】

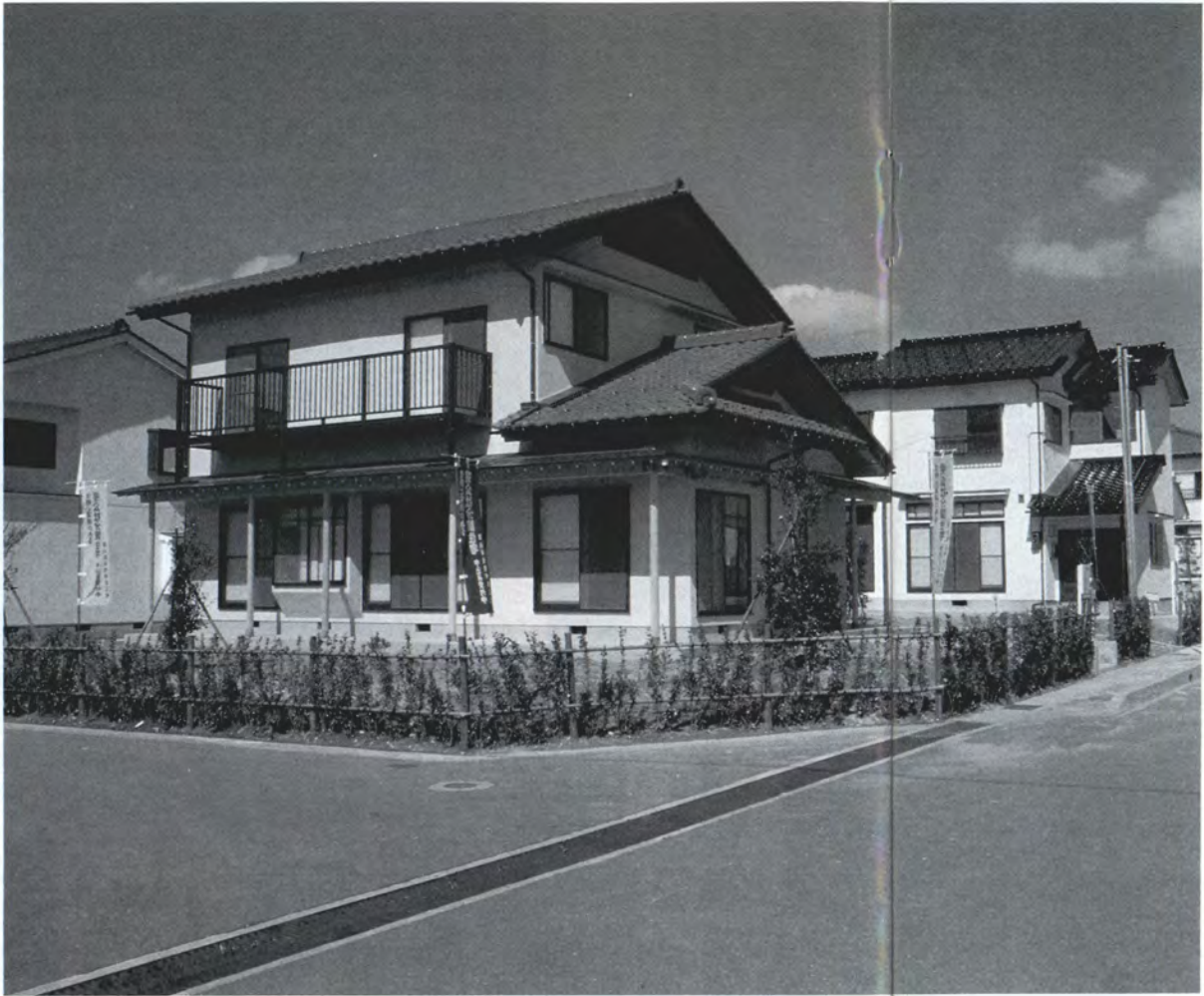
富山県住宅供給公社の分譲住宅で、雪に強い住宅仕様のものを購入する場合等に適用される制度です。

● 特典

- ① 住宅金融公庫の割増融資が受けられます。
- ② 当初の五年間、公庫の融資残高に年二%の率を乗じて得た額を、県が利子補給します。
- 募集団地
月岡団地(富山市)、中田団地(高岡市)

応援します

マイホームづくり



土合団地(大門町)、中名団地(婦中町)
和合団地(上市町)、木舟団地(福岡町)
中桜町団地(朝日町)

【富山県優良宅地取得資金融資】

県または、住宅供給公社が造成した住宅団地の宅地を購入する方に対する低利の資金融資です。

【地域木造住宅の割増融資】

住みよい家づくり資金融資制度の中で、「耐雪住宅」と「断熱構造化住宅」の両方の基準を満たすものが該当します。

● 割増融資限度額/二百万円

- 償還期間/二十年以内
- 融資利率/年五・七五パーセント
- 融資対象団地
月岡団地(富山市)、中名団地(婦中町)
荒木団地(福光町)、太閤山団地(小杉町)
中田団地(高岡市)、土合団地(大門町)
木舟団地(福岡町)、和合団地(上市町)
中桜町団地(朝日町)

【富山県住みよい家づくり資金】

住宅金融公庫から融資を受けて住宅を建築購入、改良される方に対して低利の資金を融資して家づくりのお手伝いをします。

融資を受けられる住宅は、老人同居、多家族同居、心身障害者同居などの住宅です。

- 融資限度額/新築 三百二十万円
/改良 二百万円
- 償還期間/新築 二十年以内
/改良 十年以内
- 融資利率/年五・七五パーセント

問い合わせ先

- 県営住宅の入居、また、資金融資関連については、富山県住宅供給公社(〇七六四・三二・五一三二)、県庁建築住宅課
- 太閤山住宅団地の宅地分譲については、太閤山住宅団地建設事務所(〇七六六・五六・〇三二二)、県庁建築住宅課

21世紀の森

富山県

二十一世紀の森

場所 八尾町杉ヶ平
☎0764(58)1447



▲養魚の森
◀白木峰の花畑



みなさんも、きれいな空気や緑にかこまれて過してみたいかがかな。

★レポーター募集

レポーター 宮本恵美子

「レポーターがやりたい」、「県政のあんな所こんな所が見てみたい」、このような方は、県庁広報課までご連絡ください。お待ちしております。

☎0764(3)4111

◀きのこがいっぱい



◀冒険の森でアアア〜

▶根元曲がりの木



八尾町の山深く。ここに二十一世紀を担う青少年が集い、明日への希望とやすらぎを求め、森林を通して心の触れ合いを広める場二十一世紀の森があります。緑豊かな自然と、きれいな空気の中で、森林を観察し、森林と遊び、森林を学ぶことができます。今回レポーターを務めてくださったのは宮本恵美子さんです。

最初は、森林学習展示館を見ましよう。ここは富山県の森林を紹介するとともに森林と私たちの結びつきについて理解を深めるために設けられたとか。展示館の中には、入善町で発見された埋没林やスギ・ヒノキなど郷土の主な樹が十数点展示してありました。勉強になったのは、北陸の雪によって大きな樹も根元が曲がってしまうことです。その分だけ、木がムタになる、これは根元曲がりの木と名付けられているようです。また、樹木が伐採され住宅になるまでの過程もわかりやすく説明されています。そのほか、木の成長や営林の過程を紹介するビデオもあります。おっと、展示館の中もいろいろ外は太陽がギンギン、ちよっとその辺を歩いてみよう！すぐそこは、キャンプ場。ボーイスカウト、児童クラブ、それに学校の野外学習には最適。炊飯施設やキャンプファイヤー場などが整備され、一時に三百人がキャンプでき、テントも四十六組用意されています。今度、キャンプに来てみたいなあ！

次に行ったのは、冒険の森、フィールド・アスレチック施設があります。ぼつと見た感じ簡単そうに見えるて実はなかなかむつかしい

ものがありました。丸太で作ったある木製遊具は体をきたえるのによいのでは。

あせを流しながら歩いていくと、時期的にはまだ早いんだけど、なめこ・しいたげが栽培してあります。きのこの森です。秋にはきのこが楽しめそう。

なんだか、水の流れる音。水の音って気分的にも涼しい感じがする。ワッ！イワナア。たくさんイワナが気持ちよさそうに泳いでる、養魚の森でした。

もう少し足をのぼして、白木峰に登ってみることに。短い緑の草がどこまでも続いている、ところどころ、黄色いニッコウキスゲ、アキノキリンソウの花が咲いている、耳をすますと鳥の声、ホーホケキョ、ビビビビ。鳥達は何を言っているのかな、山の上は下よりも涼しい、自然がいいなあと思いました。だんだん緑が少なくなっていくけど緑をこれ以上へらしたくないです。

森林と遊ぼう



子に贈る大きな財産下水道 9月10日は全国下水道促進デーです

◇下水道整備は県民の願い

近年、都市部のみならず農山漁村部においても、下水整備に対する要望は非常に強くなつてきています。県が実施している「県政世論調査」でも、県政への要望のなかで、下水道整備は毎年その上位を占めています。

◇富山県における取り組み

本県では、流域下水道をはじめとする下水道整備を県政の重点施策の一つとして取り組んでいます。

高岡市及び砺波地方の四市七町一村を対象と



する小矢部川流域下水道事業については、昭和五十六年度から着手しており、この事業によって、県の全人口の約三十八パーセントに相当する三十二万八千人の方々下水道を利用できることとなります。

当流域下水道の二上浄化センター及び幹線管きよについては、国の予算獲得に努めながら建設を進めており、昭和六十二年度末にはその一部を供用開始する予定です。

◇市町村の現況

県内の市町村については、富山・高岡・新湊

及び氷見の四市と小杉町で既に公共下水道を供用してきましたが、新たに六十一年度からは、宇奈月町が七月に供用を開始したところであり、大山町も六十一年度末には供用開始となる予定です。

さらに、県内の九市八町一村でも公共下水道の整備が進められており、大半の市町村が下水道事業に着手していることとなります。

本県の下水道の総人口普及率は、六十年末現在十九パーセントであり、全国平均の三十六パーセントに比べてかなり低い水準となっており、今後とも下水道の整備を強力に促進することが必要です。

◇下水道の役割

下水道は、私たちの生活や生産活動に伴って生ずる汚水をすみやかに排除して、環境を改善します。

また、汚水が処理されないまま河川や海などに流入すると水質の汚濁が進行しますが、下水道が整備されると汚水はきれいな水に処理されて河川や海などに流入することになり、自然環境を守ることが出来ます。

◇豊かな自然を守る下水道

本県は、清らかな豊かな水の宝庫です。この豊かな水と美しい自然を守り次の世代に引き継ぐことは、現代に生きる私たちの責務です。快適な生活環境を維持するために、下水道はなくてはならない財産です。

下水道の普及促進に、県民の皆さんの深い御理解と積極的な御協力をお願いいたします。

ご存知ですか

軽油引取税を！

一、軽油引取税とは

軽油引取税は、バスやトラックなどディーゼル車の燃料として使用される軽油にかかる税金です。

県民の皆さんが、ガソリンスタンドで購入される軽油の代金のなかには一リットル当たり二十四円三十銭の軽油引取税が含まれています。

二、軽油引取税のつかいみち

自動車台数の増加につれ道路の損傷が激しくなり、その補修などに多額の費用が必要となりました。そこで、道路を利用する方々にその費用を負担していただく趣旨で設けられた目的税が軽油引取税です。

従つて、県へ納められたこの税金は、すべて県内の道路整備や橋りょうの建設などの財源として使われております。県内のガソリンスタンドで購入される軽油の数量が増えれば道路整備の財源が増え県内の道路が一層整備されることとなります。

三、軽油引取税がかからない場合

このように軽油引取税は、道路の費用に充てる趣旨で設けられた税金ですので、道路の使用とは直接関係のない農業用トラクターや漁船の

燃料など特定の用途に使われる軽油については、税が免除されることになっています。

免税の軽油を使用する方は、あらかじめ県税事務所へ申請して「免税軽油使用者証」の交付

介護の負担を軽減するための生活機器展

■場所 富山西武7階催事場

■期間 9月19日(金)～24日(水)

障害者の介護にあたる家庭の負担軽減を図り、地域や家庭と共に暮らせる社会環境をめざして、「介護の負担を軽減するための生活機器展」を開催します。家庭で介護に当たっておられる方、ボランティアの方、病院関係の方など幅広くみなさんに御覧いただきたいと思ひます。ご来場ください。

展示コーナー

在宅障害者の方の障害の内容や介護の状況に応じて研究・開発された幅広い内容の機器を展示します。

- (1)寝たきり状態の方のためのコーナー
 - (2)自立をめざすためのコーナー
 - (3)障害者用衣類コーナー
 - (4)モデル住宅、設備のコーナー
- (主な展示品)

軽油の購入は、県内のスタンドで！

を受けてください。また、軽油を実際に購入する際に県税事務所から必要数量の免税証(チケット)をもらい、このチケットをスタンドに渡しますと税金のかからない価格で軽油を購入することが出来ます。

なお、ご相談は最寄りの県税事務所をお願いします。

- ・食食用自助具 持ちやすいスプーン、こぼれない皿、すくいやすい皿、食食用セット
- ・排泄用自助具 椅子型便器、採尿器
- ・入浴用自助具 浴槽用シート、風呂用シート
- ・ベット・マット トイレ付ベット、電動ギャツジマット
- ・介護用品 おむつカバー、失禁用シート、ふとん
- ・設備環境用具 階段昇降機、まわしやすいくぼ、自在水栓

相談コーナー

専門の相談員などが相談を受けます。

- (1)生活機器、補助具の利用
- (2)健康、リハビリテーション、介護
- (3)福祉制度

ふるさと
みてある記

城端町

観客動員数10万人
ライブ
城端むぎや祭

麦や菜種は二年で刈るが

麻が刈りりようか半土用に



城端町は真宗大谷派別院善徳寺を中心に開けた門前町で、白壁の土蔵や家々の軒先の格子戸、そして信仰に篤い善男善女で端正なたたずまいを見せている。が、毎年九月十五・十六日には、その様相を一転し、善徳寺本堂等をメイン会場に町一体がライブステージ化する。

そう、城端むぎや祭りが開催されるのだ。出演者は、城端町民だけではない。越中五箇山、平、上平、利賀の三村に加え隣県の白川村からも駆けつける。もちろんストリートパフォーマンス街流しには飛び入り大歓迎。

さて、このライブむぎや祭りだが、始まったのはそんなに古くもない昭和二十六年、今年で三十六回目、てな理由で、この祭りを最初に企画した当時の仕掛け人のメンバーの一人、川田常造さんにインタビュー。

「昭和二十六年というのは、第二次世界大戦が終わって、日本全国各地がなんだかまだ虚脱感みたいなものをかかえていた時代なんですけれども、城端町もその例外ではありませんでした。そこで何とか町の人たちの気持ちを高揚させるものはないだろうかということで始められたのがこの『城端むぎや祭』なわけです。さいわい城端には大正末期から『城端麦屋節新声会』というのが作られていて、このメンバーと町の有志とが中心になって企画しました。当時の新声会メンバーで残っているのは私一人になってしまいました。私も七十九歳になってしまいましたから……。当時は私も四十三歳、何回も東京、大阪、名古屋の放送局に出演もしました。まだテレビの無いラジオの時代でしたが、私が



川田常造さん

三味線をひき、永井友次が歌いました。彼はすでに他界していますけれど、その歌いつぶりはそれは見事なものでした。麦屋節は、城端と五箇山では少し節回しが違うんですが、彼の歌が城端節と言われるものですね。」

川田さんは、現在、新声会の会長を務めておられ次のようにも、

「新声会には、全国から毎月二、四件の出演依頼が舞込みます。それから後継者育成のために地元の城端中学校や小学校の生徒に、指導してゐるんです。踊り、歌、三味線、尺八、太鼓、および麦屋に関わるものの全てを教えています。」

第一回目のむぎや祭りの観客は一万人、現在は十万人を超えるようになりました。そして最近特に、お客さんから人気を得るようになったのが、城端駅での見送り麦屋節、プラットホームで、お客さんを麦屋で送ります。また、毎年、麦屋節の新歌詩を募集し発表会も行ってますから、皆さん、ぜひおいて下さい。」

城端町の概況

人口 11,492人
(昭和60年国勢調査)
面積 65.84平方キロメートル

浄土真宗の巨刹、善徳寺の門前町としてひらけた町。

町の南東部の縄ヶ池周辺一帯は、自然環境保全地域に指定され、湖畔に群生するミズバショウは有名である。

また、5月に行われる城端神明宮の曳山祭りは、約300年の伝統をもち、地元の匠たちの技を集めた豪華な曳山と庵屋台が町を練り歩く。



白い漆に金銀従え 父子相伝の城端時絵



14代治五右衛門さん

城端むぎや祭のメイン会場となる善徳寺から歩いて五分もかからない所にあるのが、城端曳山会館。曳山が展示してあるのと言うまでもないが、毎月二十五日には、城端曳山研究会が開かれている。そしてその会長さんが四百年の伝統を持つ城端塗り、城端時絵の技法を引き継ぐ十四代、小原治五右衛門（白照）さん。城端時絵といつてもピンとこないのが代表作を掲げると九代作「鯨に驚草文手付盆」、そうです、あのお盆に鯨が画かれたもの、もっとわかりやすい

ものだと、城端曳山の庵屋台がそれ。城端時絵の代表的な特徴は、その漆の色にある。鯨のお腹を表現する白色は、他の漆塗に例をみない。

「普通漆塗りて表現できる色は、赤・黄・緑・黒・茶の五色、桃・紫・金・銀・白などは表現できないからいつの時代でも漆工芸作家は、青貝や金粉・銀粉を使ってそれらの色を表現してきたのです。でも金や銀を使えるのは、藩政当時は藩から材料の提供を受けられる限られた職人だけです。城端には、そんな藩の保護はありませんでした。城端時絵の技法は密陀絵をその根本にしているんですが、六代目の時、白を表現する城端白時絵の技法が確立されました。それがずっと私にまで引き継がれてきたわけです。現在では、金粉や銀粉は容易に使うことができるわけですが、私はやはり、城端時絵は白が命だと思えます。今では白を生かすために金や銀を使っています」と小原さん。

小原さんが今一番多く手懸けているのは、茶道具、最近のブームを反映してのようです。このほか、注文に応じ、ハネルやお盆など何でも作るそうです。で、ちよつと変わったところでは、曳山の人形の修復。地元、城端のものとは勿論、八尾のものも復元しています。小原さんの祖先が作った人形だったといひます。小原さんは言います。「城端白時絵は、伝統なんです。白い色の漆を使ってものを作るんじゃなく、ものを仕上げるために白い色が必要だから白を使っているんです。」

県政の動き

七月十六日～八月十五日

●七月二十日
86ビッグイベント、立山登拝、シートベルト着用促進キャンペーン出発式

●七月二十一日
北陸新幹線対策連絡協議会総会
北陸新幹線着工促進富山県民協議会総会



●七月二十二日
高校生の日看護見学



●七月二十四日
第22回日米医学協力委員会
インダストリアルデザインセンター懇談会



●七月二十五日
高度情報システムシンポジウム
七月二十七日
ふるさと民謡民舞まつり

●七月二十九日
少年海洋教室
県政PRデザイン研究会

●七月三十日
県庁東別館竣工式
伏木富山港特定重要港湾指定祝賀会

●八月一日
第68回全国高校野球富山県代表校(新湊高校)来庁

●八月三日
とやまファミリーサイクリング
青年の日記念シンポジウム
おまわりさんの演奏とドリルの祭典



●八月四日
知事のましまわり・語るつどい(庄川町)
ライブとやまティーチイン
第10回富山県レクリエーション大会
シンフォニックバンド結団壮行式



●八月八日
ズームアップとやま写真展
中国遼寧省スポーツ指導者交流団
表敬訪問

●八月十日
自然に親しむ集い

●八月十五日
戦没者追悼式



催し

●少年の主張富山県大会

県下の中学生たちが、日頃思っていることや考えていることを訴えます。また、「親の主張」の発表も同時に行います。

◆日時
九月十八日(木) 午後一時三十分
◆場所
富山市立芝園中学校体育館



●富山県老人若返り祭り

◆日時
九月九日(火)・十日(水)
◆内容
①お年寄りの手作り作品展
②年金・就労・保養等の相談コーナー
③親・子・孫、三世代の演芸のど自慢大会
◆場所
富山県民会館地下展示場及び大ホール

「ウッドリーム富山木工教室」

●親と子のふれあい木工教室
(小・中学生とその親対象)

◆日時/九月七日(日) 午前十時
◆材料費/五百円
◆製作物/花台

●ウッドクラフト教室

◆日時/九月八日(月) 午後一時三十分
◆材料費/三百円
◆製作物/ブローチ

●生きがい木工教室

◆日時/九月十五日(月) 午後一時三十分
◆材料費/三百円
◆製作物/スリッパ立て

●日曜大工教室

◆日時/九月二十八日(日) 午前九時
◆材料費/五百円
◆製作物/かさ立て
◆申込先
木材利用普及センター(ウッドリーム富山)
(☎0766・56・1570)



見たり聞いたり

●公募・日本海美術展

青森県から山口県まで、日本海沿岸十二府県を対象に公募した美術展です。
◆開催期間
九月二日(火)～十月十九日(日)
◆場所
県立近代美術館

●近代美術館「移動美術館」

「富山を描く」100人100景から平山郁夫、三尾公三、前田常作、下田義寛などの作品の他、ミロ、シャガールなどの版画作品も展示します。
◆【福岡会場】
◆開催期間
九月十九日(金)～二十九日(月)
◆場所
福岡市役場

◆入善会場

◆開催期間
十月二日(木)～十二日(日)
◆場所
入善町民会館
※両会場ともオープン当日十時三十分から近代美術館へ館長と語る会、また福岡会場は九月二十日、入善会場は十月四日に近代美術館職員による作品解説会が行われます。



試験

●富山県行政書士試験

◆試験日
十月二十六日(日)
◆試験場所
県立雄峰高校
◆願書受付期間
九月十日(水)～三十日(火)
詳しくは、県庁総務課へ。

●警察官B採用共同試験

◆受験資格者
昭和三十四年四月二日～昭和四十四年四月一日までに生まれた男子。ただし大学卒業者、来春三月までに卒業見込の者は除く。
◆第一次試験日
十月二十六日(日)
◆試験場
富山会場 県立富山工業高校
高岡会場 県立高岡工業高校
◆受験申込先
富山県人事委員会事務局(☎0764・41・6166)または、富山県警察本部警務課(☎0764・41・2211)



見てください 聞いてください 県広報

テレビ広報

・北日本放送
毎週日曜日 AM8:00～8:30
「こんにちは富山県です」
・富山テレビ放送
毎週日曜日 AM9:00～9:30
「110万人のひろば
—クイズフォーカスイン—」



新聞広報

・北日本、富山、読売、北陸中日
毎週第2土曜日
「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
・朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」



ラジオ広報

・FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題を
クリアなサウンドでおとどけ
します
毎週月～金曜日 AM9:30～9:35



9月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
4	木	井波町福祉会館前	10:00～15:30
6	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
7	日	黒部市メルシー前	10:00～15:30
11	木	大山町役場前	10:00～15:30
13	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
14	日	富山西武前	10:00～16:00
17	水	庄川町役場前	10:00～15:30
18	木	福野町役場前	10:00～15:30
20	土	富山駅前	10:00～16:00
		氷見市ハッピータウン前	10:00～15:30
21	日	富山市中央通り前	10:00～16:00
27	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
28	日	高岡駅前	10:00～15:30
		砺波市文化会館前	10:00～15:30

おたより

先月、雑誌で富山県が「豊かな日本のモデル」として紹介されました。とても嬉しいことでもあります。

現在、県では県民一丸となって、「いい人・いい味・いきいき富山」観光キャンペーンを行っております。また「日本一のスポーツ県、花と緑の県」など、日本一住み良い富山県をつくるために頑張っております。こうした努力が県外の人に認められつつあるということは、とてもすばらしいことでもあります。

ただ難をいえば、観光面での立ち遅れが目立つということもあります。大阪、名古屋方面からの観光客は、富山県までは来ることなく、大半が金沢や高山、下呂などで降りてしまいます。

こうした現状を打開するためにも、県独自の観光計画（オリジナル・サイトス・イーティング・プロジェクト）を考える必要があると思います。

富山県を数多くの人々に知ってもらい、「一度遊びに行ってみないなあ」と思わせることが必要なのです。私は県外の知人にハガキを出す時は、県内の風景の絵ハガキを利用しています。観光キャンペーン

ンも必要ですが、観光客を受け入れる態勢が整っていないければ何にもなりません。その基本となるのが、富山駅前の再開発であり、北陸新幹線であると思うのです。それと同時に、県民の優しさ、暖かさを県外の人々に知ってもらい、観光客が「来年また行こう」と思ってくださることに必要なのです。

（婦中町 男性）

暑中御見舞い申し上げます。とはいっても、この二、三日の涼しさはどうでしょう。農産物の収穫が気になります。毎月、県の広報誌「とやま」を見せてもらっています。編集の御苦労を思い、いろいろと情報を知らせてもらって感謝しています。

特にいつも感謝しているのは、PinUP TOYAMAの写真のすばらしさです。撮った方の名前が出ていませんが一人ですか、又は毎回異なった方でしょうか。富山の素敵な景色、特に山の写真などなど、新ためて富山のすばらしさを再認識しています。あのページをはずして別に写真集としてスクラップブックを作っています。惜しむらくは写真の上の文字ですが……あれはしょうがないでしょうね。これからも期待しています。時節柄、皆様お体大切に。

草々
（富山市 女性）

各種相談窓口のご案内

県政については

- ・県民相談室 富山市総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民電話)
- ・高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411
- ・魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311
- ・砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151

消費生活については

- ・消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
☎(0764)32-9233
- ・消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

暴力・サラ金などについては

- ・困りごと相談所
警察本部防犯少年課
☎(0764)33-8080
 - ・覚せい剤・サラ金相談
警察本部生活保安課
☎(0764)41-8904
 - ・暴力団ゼロ110番
警察本部捜査第二課
☎(0764)42-0110
- このほか各警察署でも受け付けています。

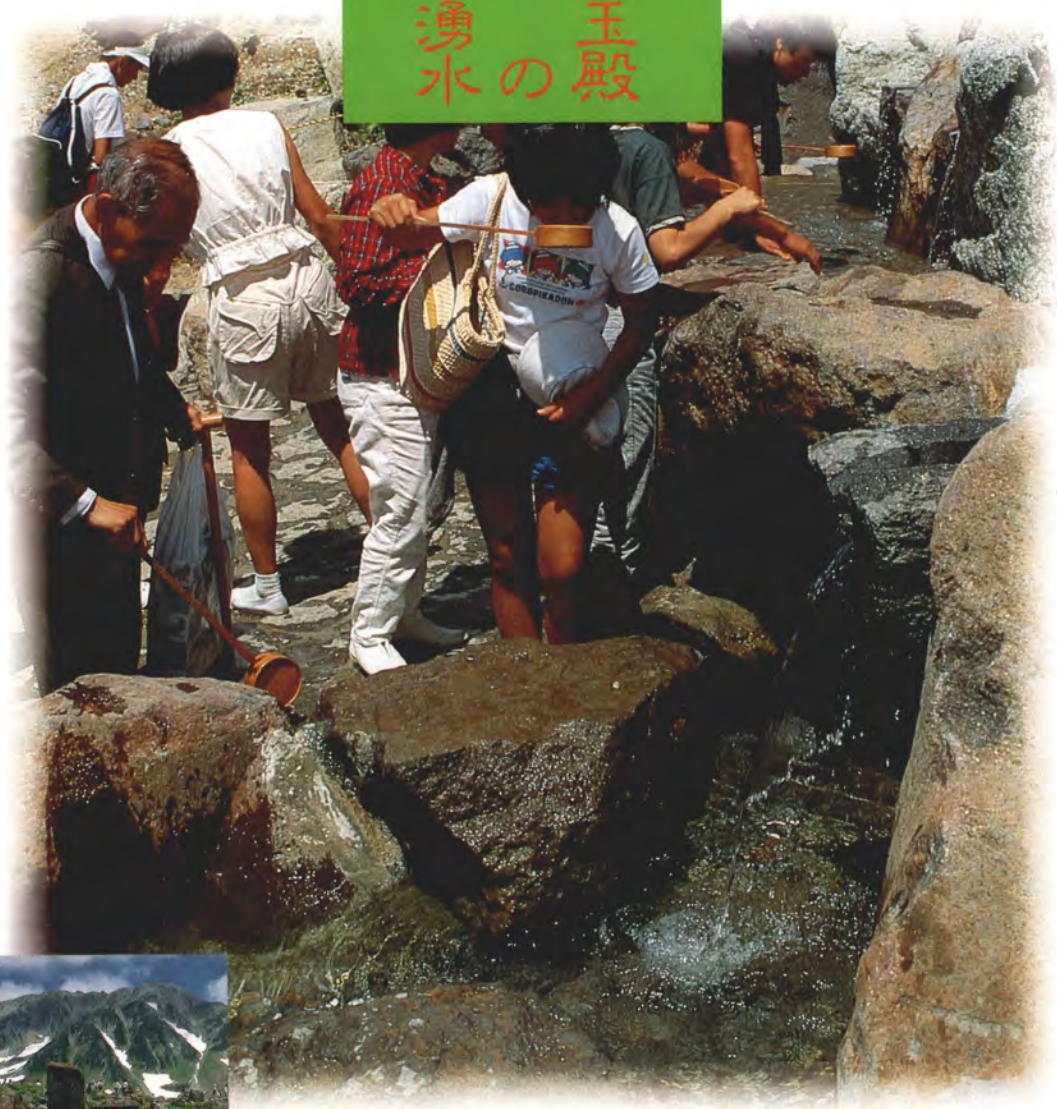
編集後記

★高齢化特集の取材でお年寄が大好きになつてしまいました。皆さん気持ちよく取材にに応じて下さり、よくお話しして下さい……。あまりの熱心さにうれしくなつてしまいました。素晴らしい方がたくさんおられます。家の中で一番必要なトイレを掃除する人は、一番貴い人のだ」と得得と悟つて下さった方、道路の空き缶を買物袋いっぱい拾っている方、スクーターで愛媛まで行くという方、ハートモ二カで施設巡りをなさっている方……。見えない所で私達の生活を支えて下さっているお年寄りがたくさんおられます。そして、長年の経験、カメの甲より年の功です。おじいちゃんおばあちゃんまたお話を聞かせて下さいね。

★コスモスの花は咲きましたか。見かけは大人しそうですが、風になぎ倒されても立ち直つて咲くそうで、一面に咲いた白やピンクの花が風に揺られ、空には赤トンボ。そんな秋の風景を探してみませんか。



シリーズ⑤ とやまの水 立山玉殿の湧水



立山黒部アルペンルートには、夏場を中心に、数多くの登山客や観光客が訪れます。立山玉殿の湧水は、この立山黒部アルペンルートのほぼ中間にあたる立山トンネルから湧出しています。海拔二、四五〇メートルの高地の湧水は他のどこにもありません。

立山の主峰、雄山の直下から湧く水の温度は二、五℃と非常に冷たく、水量は毎分約一五立方メートル、環境庁の全国名水百選にも選ばれています。

この水は、「玉殿の岩屋」がある室堂一帯に、潤いをもたらしてきましたが、現在では、トンネルから室堂付近のホテルなどに導かれ、生活用水として利用され、登山家や観光客ののどを潤しています。

昨年五月には、室堂ターミナルの背後の園地に、この湧水を利用した水飲み場も設けられ、連日、賑つています。



9月ガン征圧月間

がんの危険信号8ヶ条 (日本対ガン協会)

がんは無症状のうちに芽ばえます。

とくに胃、子宮、乳房、肺などは、年1回検診を受けて安心しましょう。

つぎのような症状があったら、直ちに専門医に見てもらいましょう。

肺

咳が長く続いたり痰に血が混じったりする

喉頭

声がかすんだり、飲み物が通らなくなったりする

食道

食べ物が通らなくなったり、胸がつかえたりする

胃

胃痛、吐酸、食欲不振、体重が急に減る

大腸・直腸

便が細くなったり、血や粘液が混じったりする

舌・皮膚

舌の痛み、口内炎、皮膚の発疹、潰瘍

子宮

月経不順、不正出血、性交時の痛み

乳房

乳房の腫れ、痛み、皮膚の陥凹、乳管の分泌物

腎臓・膀胱・前立腺

血尿、頻尿、尿の痛み、尿の回数が増える

